

KANAGAWA

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会 <http://www.j-kana.or.jp/> email: info@j-kana.or.jp

11

November, 2016

vol. 405

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会は、40周年を迎えます。

Contents

建築探訪…01

会員仕事紹介…03

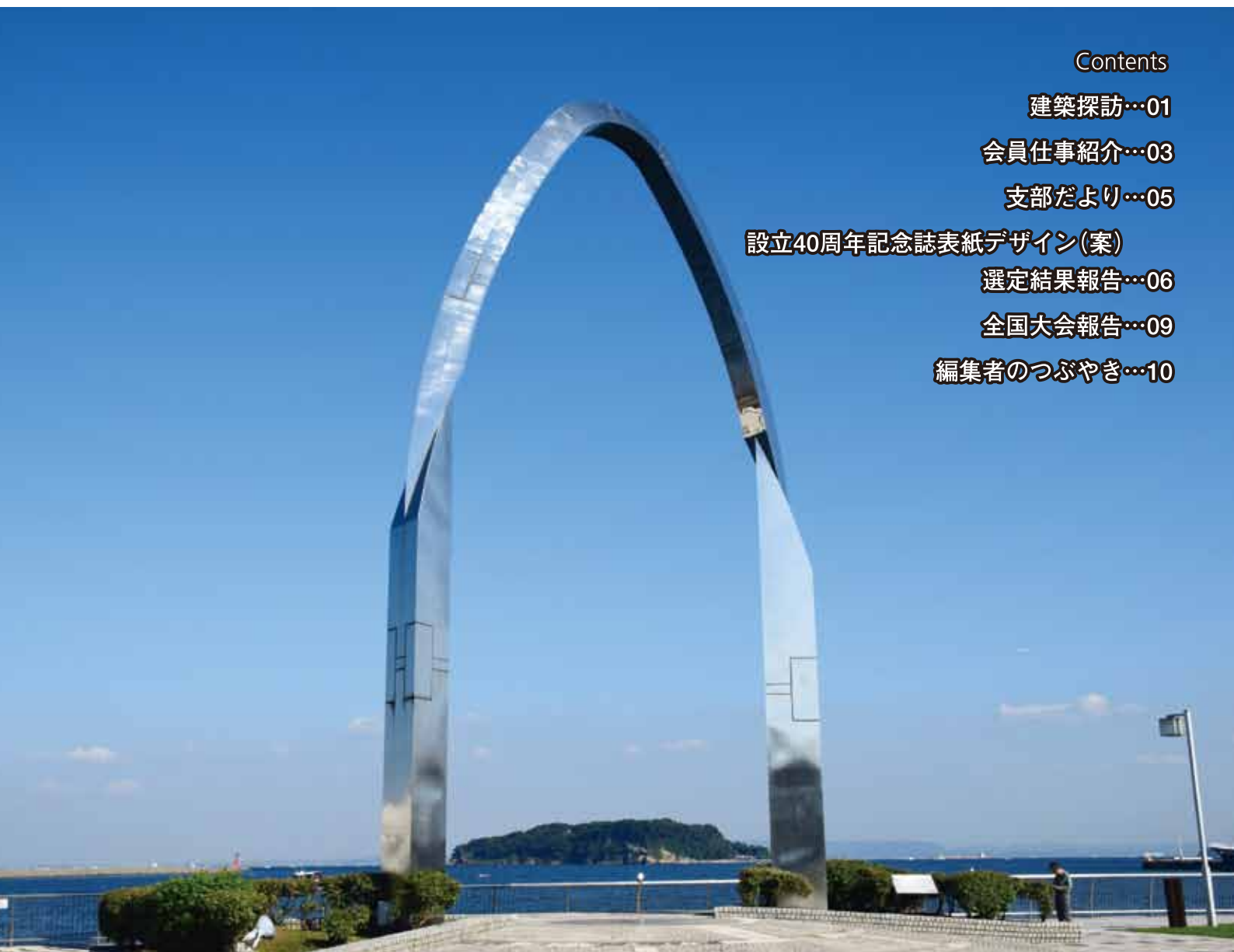
支部だより…05

設立40周年記念誌表紙デザイン(案)

選定結果報告…06

全国大会報告…09

編集者のつぶやき…10



平成28年熊本地震により、被災された方々へ謹んでお見舞いを申し上げますとともに、
早期の復興を心よりお祈り申し上げます。

建築探訪

東京国立博物館（法隆寺宝物館）

県西支部 瀬戸建設(株)一級建築士事務所 竹縄 光生

1.世界文化遺産を訪ねて

先日、ある企画で、世界文化遺産の国立西洋美術館を拝観する機会を得ました。皆さんもご承知のよう世界的な美術家・建築家のル・コルビュジェの下で、前川國男、坂倉準三、吉坂隆正の3氏がメインとなり、汗を流した渾身の作品でもあります。私も学生時代に、隣接する東京文化会館とともに、非常に感銘を受けた記憶を覚えています。

しかし、今回は何十年ぶりかの限られた上野訪問の中で、どうしても他に訪れたいところがありました。それは1999年谷口吉生氏 設計の法隆寺宝物館であります。そこには飛鳥時代から奈良時代にかけての宝物300件あまりが収蔵されています。明治時代 法隆寺より天皇に献上されたものであり、非常に貴重な展示収納博物館でもあります。

1 竣工当時、私は忙しい設計の最中、雑誌でしか拝見することしかできませんでした。それでも、その写真から受ける衝撃たるや、私の中では計り知れないものがありました。和の繊細さを谷口流に洗練させ、光とゆらぐ水面に加え軽快なストラクチャーとの対比表現が素晴らしかったからです。

拝観当日はあいにくの曇天模様で、建物の折なす陰影が鮮明に浮き出されることもなく、少しがっかりはしましたが、それでも、西洋美術館を早々にあとにし、東京国立博物館へと足を急ぎ、敷地内の森を抜け、初めて出会った感動は、まさしく初心にかえるものでした。細い柱と水面に映る箱型の外観・木々の中での一筋のアプローチ、障子を彷彿させる吹き抜けホールの内外一体空間など、設計者の思いを大いに感じ取ることができました。又展示においては、ホールの明から暗に切り替わった1階においては、一体一体ガラスケースに収められた仏像数十体が浮き出てくるように展示配置され、非常に感動を覚えました。

学芸員さんに聞くとすべて顔の表情は異なるとのことのようです。

（疲れている時にはきっと癒されるんだろうな…）そんな思いを巡らしている間に、集合時間

が迫ってきました。併設されているレストランでのコーヒブレイクもできず、駆け足で館内を巡り、なんとも後ろ髪をひかれながらの慌ただしい拝観となってしまいました。

………次の機会に！



国立西洋美術館



法隆寺宝物館 外観



法隆寺宝物館 内観

2.数日後…地元を思う

地元で、今度は小学校以来の小田原城を拝観する機会を得ました。耐震補強を含め平成28年4月に大改修工事を経て、夜には、ライトアップされた屋根・白壁の美しさが際立ち、現在は、小田原の象徴となっています。神奈川で唯一の天守閣のある小田原城は、昭和35年に鉄筋コンクリートで復元され、建物的には文化遺産的な要

素はないものの、戦国時代・江戸時代を経た歴史的な陳列内容は改修されかなり濃いものとなっています。さらに最上階の展望デッキからは、三浦半島、真鶴半島、丹沢山系と挑め、改めて神奈川の良さに感動し、又訪れた何人かの観光客の方が童心に返り喜んでる姿が印象的でもありました。…………よし、頑張ろう！



小田原城 内部展示



小田原城 内部展示



法隆寺宝物館 スケッチ

伊勢原支部 有限会社内田工務店 代表取締役 内田 幸夫

京都で伝統建築の修行の後、地元である神奈川県伊勢原市にて一級建築士事務所・内田工務店を設立。

全国の国宝・重要文化財修理に携わる宮大工の団体として、文化庁の選定保存技術保団体でもある日本伝統建築技術保存協会の理事として、日本の伝統を守り伝える仕事をさせていただいております。

私が県内で最近手がけました現場をいくつかご紹介させていただきます。

1.日蓮宗 妙誠寺本堂（愛川町）

平成22年より計画をはじめ、平成27年6月に上棟、4月竣工。

社寺建築は時代や宗派等によって異なる様式があります。こちらの本堂は鎌倉後期の和様の外観で設計しました。

外周部柱は桧九寸丸、内陣柱は桧尺一寸丸、向拝柱は桧八寸角（大面取）。

斗栱は平三ツ斗、向拝斗栱は連三ツ斗。二軒居定垂木（反り増し）としました。

簷股は正面側を日蓮宗の紋である橘をモチーフに、裏面は鎌倉後期の如意頭形に。

方形屋根は桁行、妻行の地の間が違いため野隅木を振れ隅木とし、露盤宝珠としました。

内部について、間取りは使い勝手を考慮し、来迎柱が背面側通りまで下がる現代風の空間に。

造作は内法長押の他、蟻壁長押と蟻壁を配し、折上格天井（杉無垢板）としました。

落慶法要の際には御上人様をはじめ、檀信徒の皆様より多大なるお褒めの言葉をいただき、職人冥利につきます思いでありました。



妙誠寺本堂 外観



妙誠寺本堂 内観

2.高野山真言宗 延命寺鐘楼堂（逗子市）

高野山開創1200年記念事業として平成26年より計画をはじめ、平成28年7月に上棟、10月竣工。

隣接する大岡實氏設計の本堂（古代と中世の折衷様の重層のRC造）とのバランスを考慮し、同じく折衷様。こちらは鎌倉後期の和様と大仏様を合わせた折衷様で設計しました。

基壇の御影石はビシャン仕上げ。

四方転びの柱は吉野桧一尺丸、飛貫・頭貫の木鼻は大仏様、台輪を配し斗栱は三ツ斗組としました。

二軒居定垂木とし、中世の様式に見られる木負の反りが茅負より強くなる捻じ軒としました。

屋根は本葺瓦（八寸判）。その屋根を軽快に見せる工夫として妻側の勾配を緩くする振れ野隅木にしています。

妻飾りは古代より中世に見られる猪子叉首、シンプルな猪目懸魚。

梵鐘は昭和30年代に富山の老子製作所で制作され、「音の良い鐘」として地域の方々に愛されて来たヘラ押し金粉散らしの出来の良いものであり、今回はそれを老子製作所の工場に運び、



妙誠寺本堂 建方中の様子

発色、金粉散らしを施し、新品と見違えるほどに美しく蘇りました。

「平和の鐘」と呼ばれるこの鐘を守る鐘楼堂にふさわしい意匠を、ということで天井板には獏の彫刻を納めさせていただきました。「獏は夢を食べるもの」と言われているが、鉄（武器）を食べるとも言われ、それすなわち平和の象徴である」というご住職様の思いを形に。平和の祈りを繋ぐありがたいお仕事、心をこめて勤めさせて頂きました。



延命寺鐘楼堂 工場での屋根仮組みの様子



延命寺鐘楼堂 平和の象徴である獏の彫刻が施された天井板



延命寺鐘楼堂 外観

3.高野山真言宗 重要文化財宝城坊本堂保存修理 【日向薬師平成の大修理】（伊勢原市）

県内有数の大型の文化財である宝城坊は平成23年より6年がかりで保存修理を行ない、弊社も下請けとして参加。今年6月に木工事を完了し、11月に落慶を迎えます。こちらにつきまして詳しくは次の機会にご紹介させていただきます。



重要文化財宝城坊本堂 修理解体中の様子

4.天台宗 東光寺仁王門修理（秦野市）

今秋より、江戸時代中期に建立された仁王門の解体修理に取りかかりました。近世以前の建物としては神奈川県西部で唯一の楼門である東光寺仁王門は老朽化により軸部の傷みが激しく、建立以来初の全解体修理を施すこととなりました。

平成29年12月竣工に向け、現在、調査・解体をしているところです。こちらにつきましても後日その様子をご説明できればと考えています。



東光寺仁王門 修理前外観



東光寺仁王門 修理解体中の様子

支部だより

よこすか優良設計事務所協議会平成28年度第2回講習会

横須賀支部 副支部長 小泉 厚

横須賀支部の活動の1つに優良設計事務所協議会での活動があります。この協議会は横須賀市、建築士会横須賀支部、当協会湘南三浦支部、そして横須賀支部の4団体で構成されており、設計事務所の質の向上を図るために平成14年に組織されました。年4回開かれる講習会は横須賀市による情報提供や指導、講師を招いて省エネや日々更新していく設備関係等の紹介、地盤や構造のわかりやすい解説、そして見学会等と様々な分野の話題を取り入れており、4団体がそろった官民協同による優良設計事務所協議会だからこそできる講習会となっています。



茅葺屋根の公共建築「万代会館」



最勝寺氏講演風景

今年度第2回目の講習会は9月28日、講師に建築家の最勝寺靖彦氏（TERA歴史景観研究室代表）をお招きし、会場を横須賀に残る唯一の藁葺き屋根の公共施設『万代会館』に移し、約30名の参加者で行われました。

今回の演題は『万代会館から何を学び、上町商

店街で何が可能か』と題し、「民家から学び得るもの」と「私たちが失った建物、作法」を畳の間で語っていただく和やかな講談となりました。

ここでは情報として講談の一部を紹介させていただきます。

「民家から学び得るもの」として光、風、そして音に関する民家の手法をお話になりました。その中で印象に残った話として、民家の光の考え方がありました。民家の深い庇は上からの光を遮り、地面や水面、または灌木等に反射した乱反射の光を正面又は下面から内部に取り入れることで安らぎを得、また内部の仕上げが砂・土壁、畳、板天井で構成されていることで更なる乱反射が起こり、この作用が民家のモダンなデザインの要素になっているとのことでした。昔は上から光が降る時（お天道様が上がっている時）は働けという意味が強かったそうで、家では安らぎを求めたのでしょう。また中庭、通り庭の光の取り入れに関しても南面でないからこそ、光が地面や壁面に反射することで安らぎを



上町商店街の看板建築
(寺坂副支部長所有)

得ることができたそうです。他にも風の話で、関西では昼間、海からの涼風を得るために西向きの家が建ち、そのため西日を遮るためにすだれが発生したことや、また、ふすまによる日本間のプライバシーの流儀や防音、寒さに対する配慮をお話いただき、民家のシステムが現代の住宅の原点になっているのではと改めて考えてみるキッカケとなりました。

また、「私たちが失った建物、作法」では「昭和の面影が残る横須賀上町商店街」の良さを語っていただき、寺坂副支部長所有の昭和初期の木造3階建看板建築を訪れた感想や街並みの保存に関して講義をしていただきました。

今回はよこすか優良設計事務所協議会での活動を“支部便り”として報告させていただきました。



上町商店街の看板建築

「設立40周年記念誌 表紙デザイン(案)」が決定する！

40周年記念誌部会長 小渡 佳代子

本会では、設立40周年を迎えるにあたり「未来に継げる神事協」をテーマに「40周年記念誌」の表紙のデザイン(案)を会員の皆様から応募いただきました。

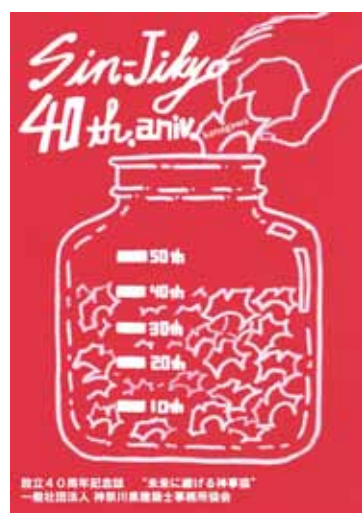
募集応募作品・9作品が出そろいました。

先般開催された神事協・統括委員長会議の議題に諮り会議メンバーにて投票いたしました結果、最高得票者は…

従来の記念誌にない斬新で・ユニークな面白さ・神奈川県地形カードが瓶の中に10周年～40周年の活動行事等々として収まり50周年に向けて新たな県地形カードが瓶の口に向かっている構図です。

記念誌部会は今回の優秀案をもとに記念誌表紙構成を早急にまとめる作業に入ります。

横浜支部若手の
株式会社ワタナベ福祉設計
代表者 渡邊 靖 会員の作品となりました。



旅行記

『～信州上田と歴史探訪の旅～横須賀支部研修旅行』

横須賀支部 加藤工務店一級建築士事務所 加藤 雄治

横須賀支部では昨年の世界遺産 富岡製糸場を訪れた研修旅行に続き、今年は6月17日～18日に1泊2日で信州長野県方面へ研修旅行を開催致しました。



1日目、最初に訪れたのは安曇野ちひろ美術館、絵本家いわさきちひろや世界の絵本画家の作品を多数展示している美術館です。内藤廣氏の設計で内観はとても木のぬくもりが溢れる館内で、また外観は切妻の連続屋根を用いて安曇野の田園風景にもとけこんだ素晴らしい美術館でした。

美術館を後にし、昼食会場は信州名物の手打ち蕎麦に舌鼓、地元の馬刺しも頂きました。

その後、今晚のお宿 別所温泉「朝日館」に早めのチェックイン。お宿周辺には“信州の鎌倉”とも言われている鎌倉時代から室町時代にかけての中世に建立された文化財がたくさん残されており、国宝八角三重塔や厄除観音で知られる北向観音などの見学や別所温泉の外湯巡りなど

それぞれに散策を楽しみました。

今回の研修旅行へは湘南三浦支部と士会横須賀支部からもご参加頂きまして、夜の大宴会は大いに盛り上がりました。

2日目は8時半に宿を出発、朝一番から日本酒の造り酒屋の見学をおこなった後、いよいよメインであります上田城の見学をおこないました。こちらは現在NHKで放映中の「大河ドラマ真田丸」で知られる戦国武将、真田一族の居城で二度にわたり、徳川の大軍を打ち破ったことで有名な場所となっております。天守閣はなく平城ではありますが要害堅固な名城であった面影はあちこちに見受けられました。



落ちない城と言われ、多くの参拝客が訪れる真田神社にも参拝しその後、真田丸大河ドラマ館の見学をおこないました。

最後の立寄り場所「海野宿（うんのじゅく）」は北国街道の旧宿場町で江戸時代～明治時代の面影を残しており、まるで時間が止まっているかのような静けさと佇まいを感じました。

防火壁の役割を果たす卯建（うだつ）や長短二本ずつ交互に組み込まれた海野宿特有の模様の格子戸は江戸時代のもので「海野格子」呼ばれているそうです。こうした意匠を凝らした伝統建築を見ることができ、大変勉強になりました。

今回の研修旅行では美しい北アルプスの景観を眺めながら現代建築や歴史ある多くの文化史跡にふれ、情緒溢れる信州上田方面で天候にも恵まれ、大変有意義な2日間を過ごせることができました。

また支部ではこのような楽しい会を計画していきますので会員の皆様方もぜひご参加下さい。



大会報告

全国大会東京開催に参加して

川崎支部 有限会社 折笠幸男建築設計事務所

折笠 幸男

一般社団法人日本建築士事務所協会連合会の第40回全国大会東京開催に参加することになりました。また、単位会推薦により年次功労者として出席でき、皆様のご理解があつてのことと深く感謝申し上げます。



大会テーマである「成長から匠の技を活かす感動した社会への醸成へ」は、山梨知彦氏による「IT技術が建築設計を変える」の講演内容そのものであると感銘を受けました。講演後は、日事連建築賞の審査報告と授賞式から国家表彰・功労者表彰・会員・増強単位会表彰まで、いささか緊張の中、滞りなく進められました。

終了後、単位会（神奈川会）の参加者により記念写真等を撮りながらの和やかな懇親会となりました。最後には小林会長を始め、棕副会長・白井副会長・小渡副会長・福田副会長含め川崎支部の参加理事を中心に他支部の参加理事の方々から、私のためにお祝いの席を設けていただきまして、大変感激し身に余る思いでした。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

今後とも、神事協の発展のため、誠心誠意尽力して参りたいと存じますと共に皆様のご健勝をお祈り申し上げ私の言葉とさせていただきます。



新入会員のご紹介

9月入会者

横浜支部

一級建築士事務所長岡建築設計 長岡 卓也
〒236-0052 横浜市金沢区富岡西2-2-19
TEL.045-349-9566 FAX.045-349-9588

株式会社エス・デー・ジー (S・D・G) 建築設計事務所 相原 俊弘
〒236-0017 横浜市金沢区西柴1-5-5
TEL.045-788-6610 FAX.045-788-6611

横須賀支部

株式会社ループ 朴 栄信 (新井 新一)
〒239-0807 横須賀市根岸町3-3-3
TEL.046-833-6566 FAX.046-874-4821

湘南三浦支部

海設計事務所 岡田 整
〒249-0006 逗子市逗子4-3-5-4F
TEL.046-807-2701 FAX.046-894-2701

株式会社ボス建築研究所 堀江 薫
〒240-0113 三浦郡葉山町長柄75-6
TEL.046-875-4330 FAX.046-875-2492

10月入会者

横浜支部

日産ネットワークホールディングス株式会社一級建築士事務所 丹羽 智寛
〒220-8686 横浜市西区高島1-1-1
TEL.045-523-5414 FAX.045-523-5691

横須賀支部

RJT設計 小林 匠
〒239-0824 横須賀市西浦賀2-17-11
TEL.080-5001-8628

退会者

横浜支部

株式会社湘南建築設計事務所 木村 義明

相模原支部

有限会社相都測量設計一級建築士事務所 高橋 正之

県西支部

共立建設株式会社二級建築士事務所 加藤 亮

変更

横浜支部

一級建築士事務所キリンエンジニアリング株式会社
(指定代表者変更) 平岡 睦雄

YN design (所在地・TEL・FAX変更)
〒223-0058 横浜市港北区新吉田東2-3-1-811
TEL.045-633-8638 FAX.045-633-8638

横須賀支部

株式会社高戸工務店設計事務所
(指定代表者変更) 高戸 輝男

賛助会新入会員

平成28年度入会者

積水ホームテクノ株式会社 神奈川ウェルズ営業所

賛助会退会者

株式会社シェルター
株式会社横浜銀行川崎支店

会 勢

支部名	平成28年10月15日現在				
	平成28年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	262	266	14	10	4
川 崎	105	107	4	2	2
横 須 賀	52	53	2	1	1
湘 南 三 浦	16	18	2	0	2
藤 沢	28	28	1	1	0
鎌 倉	39	40	2	1	1
茅ヶ崎寒川	18	18	0	0	0
平 塚	21	20	0	1	-1
秦 野	18	19	1	0	1
伊 勢 原	9	9	0	0	0
大和綾瀬	19	19	0	0	0
厚 木	34	33	0	1	-1
座 間	13	15	3	1	2
海 老 名	15	16	1	0	1
愛 川	7	7	0	0	0
相 模 原	75	74	0	1	-1
県 西	41	40	0	1	-1
合 計	772	782	30	20	10
賛助会員	74	83	9	0	9

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき

「ご当地マンホール」

広報委員会の後のやや遅れた暑気払いは、9月に馬車道の大川近くで行われた。そこは横浜ビールが飲める場所でした。会議場所の不老町の事務所から馬車道迄の道すがら下水道のマンホール



広報委員会懇親会

ルのデザインが気になり下を見ながら歩いた。全国的にはカラーのもがあるが横浜市のはパイブリッジのデザインでした。蓋の開け方も場所と時代によって異なるようです。マンホールの蓋はスリップ防止の凹凸が施されているが、近年地域色が溢れているものが増えています。現在1万2,000種類ほどのご当地マンホールがあるという。日本のものは世界的にもユニークで評判ですが、海外には更に遊び心満載のものもあります。神奈川建築士事務所協会の歴史も10年前とは大分様子が異なって来ています。これから仕事の後援部隊機能に加えて、遊び心も取り入れ、若い人も楽しく活躍できる「遊び」心の発見場所でもありたい。

【川崎支部 恩田 耕爾】



横浜市：パイブリッジのデザイン



古いタイプのものは幾何学模様が多い：東京帝国大学構内のマンホール



スロバキアのマンホール：作業員が首を出している日本ではマンホールの蓋をカラーにする程度ですが、彫刻など遊び心があふれています。

かながわ 平成28年11月号 (通号405号)

発行 平成28年11月1日 (奇数月1日発行)
発行人 小林 忠志
発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755 / FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 小渡 佳代子
・ 広報情報委員長 白川 正孝
・ 広報情報副委員長 三村 邦彦 小泉 厚
・ 広報情報委員 雨森 隆子 恩田 耕爾 清田 鈴美子
・ 新倉 良一 小井口 英寿 坪井 教一
・ 杉本 勝郎 神尾 明美
・ 事務局 小林 恵美



今月の表紙

横須賀三笠公園

秋晴れの休日、横須賀三笠公園を訪れてみました。

この公園は「戦艦三笠」があることで知られていますが、「水と光と音」をテーマに音楽に合わせて舞う噴水やモニュメントなどがあり、また対岸にはアメリカ海軍横須賀基地を望み、異国の雰囲気を海風と共に感じられます。公園からは東京湾唯一の無人島「猿島」への航路があり、明治時代に造られた要塞群を見ることができます。

表紙の写真は「平和のアーチ」から猿島を望みました。



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association